

2023・沖縄女性研究者の会講演会 おきなわの子どもたちのためにできること

保育、虐待、ひきこもり、ヤングケアラーなどレジリエンスの未来を創る

日時：2023年5月27日(土) 午後1時30分-午後4時30分

会場：公立大学法人沖縄県立看護大学大講義室

総合司会 浦崎 武 琉球大学大学院教授

開会挨拶 大城 智美 沖縄女性研究者の会会長

来賓挨拶 賀数いづみ 公立大学法人沖縄県立看護大学教授

第一部 講演

演題 子ども・若者の声を聴くからをつけよう

講演者 村田 晶子



プロフィール：早稲田大学文学学術院教授、博士(文学)、専門は社会教育学、教育とジェンダー。近著に、『「おとなの女」の自己教育思想—国立市公民館女性問題学習・保育室活動を中心に』（社会評論社 2021）。『ジェンダーのとびらを開こう—自分らしく生きるために』（共著、大和書房、2022）などがある。

講演要旨：近年、地域社会の中で子ども、若者をめぐる様々な課題が浮上しています。不登校の児童

生徒は全国で24万人を数え、子どもたちの7人のうち1人は貧困の中で育ち、年間500人近くの子どもの若者が自殺しているといわれています。このような現状を決して見過ごすわけにはいきません。子ども・若者の声をしっかり聴き取り、私たちおとなはどのようなことに取り組んでいけばよいでしょうか。一緒に考え合ひましょう。

第二部 シンポジウム「これでいいの？ 沖縄の子ども状況と未来への提言」

コーディネーター：

沖縄大学福祉文化学科/沖縄大学大学院現代沖縄研究科 教授



名城 健二

パネリスト：



下地 努

沖縄県子育て支援課 課長
「沖縄県の保育行政について」



恩納 美恵子

そよかぜ保育園園長
「保育園の現場から」



嘉数 よしの

沖縄タイムス記者
「子どもの取材をとおして」



神谷 美由希

沖縄女性研究者の会若手理事
「子どもの多様性について」

沖縄女性研究者賞表彰

質疑応答

閉会挨拶：神山美代子 沖縄キリスト教学院大学、短期大学名誉教授

主催：沖縄女性研究者の会

後援：沖縄県・琉球大学・沖縄大学・沖縄県立看護大学・沖縄キリスト教学院大学、短期大学・沖縄女子短期大学
沖縄科学技術大学院大学・沖縄国際大学・名桜大学・沖縄県立芸術大学・沖縄タイムス社・琉球新報社

【協賛】陶芸宮城 沖縄尚学高等学校 そよかぜ保育園 K・I 翼 安谷屋衣料店 八重自動車 番所亭 清武材木店
サロン・ド・KOKO Skye Bridge 石川オート うるまチャレンジド カーサポートpiece 比嘉家具 長浜製菓 仲本自動車
ソルファコミュニティ 和川組 みやぎ珠算教室 ホテルへんぎ 海市水産 東洋自動車 大当窯 心の華 平安座漁港
(株)エム・システム沖縄 陶芸城 X-GAREGE 縁保育園

【入場料】 一般 1,000円 小・中・高校生・大学生無料

(売上一部子ども支援に寄付・購入後の返金は致しませんので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。)

問い合わせ：沖縄県うるま市与那城照間1449 事務局 (098-978-4400) 090-6868-1798